

令和7年3月29日

関係者様

世田谷区立下北沢小学校  
校長 大字 弘一郎

## 令和6年度 次年度に向けた改善方策について

学校関係者評価委員会の皆様には、令和6年度のアンケートデータを基に、下北沢小学校の実情を踏まえた評価報告書をご提出いただきました。心より感謝申し上げます。本校では、この報告書を基に以下の改善方策を考え、児童が安心して生活できる学校づくりに努めてまいります。

### 【学校の重点目標について】

- 1 重点目標に「かかわり合う活動の充実による自分づくりのできる子ども育成」を位置付け、自分のよさの実感ができる児童を育成していきます。

学校で多くの友達や先生と関わって、「自分の良さの実感」を感じることは、以前から難しい目標だったが、年々目標値に近付いている。本年の5年生は8割に迫る肯定的回答を示した。「自分の良さを見つける」ことは、内省的な児童にはなかなか難しいと思うが、継続的指導の効果が現れていると思われる。来年度も、教育活動全体で関わり合いを増やし、特別活動の充実を図ることでさらなる向上を目指してまいります。

- 2 重点目標「学習内容がわかり、できると実感し、論理的に考え、表現する子どもの育成」に取り組みます。

『できる・わかる』については、例年否定的回答が多かったが、今年は昨年より大幅に肯定的回答が増え、目標の8割に近付いている。年代的に見れば児童1年生から4年生の肯定的回答の平均値が約7割、それが5,6年生で約8割へと近づいている。来年度も主体的・対話的な学習を進め、自分の考えを表現する力を高めて参ります。また、タブレット端末も活用することで相互発表の場を広げ、児童が主体的に参加する環境作りを進めていきます。

- 3 重点目標「自分の身体づくりに关心をもち、進んで運動する子どもの育成」に取り組みます。

一昨年までは肯定的回答が60%台で低迷してきたが、本年は5年生、6年生とも7割を超える上昇傾向である。重点目標に力を入れた成果が見えてきていると考える。体育やわくわくタイムの内容を充実させ、休み時間の遊びを奨励することですぐに運動する子どもを育成してまいります。